

令和4年度事業報告

I 総括

「令和4年度についてもコロナ禍が継続すると思われることから、引き続きコロナ感染防止策に万全を期しつつ奉仕会業務を運営する」との方針のもと、奉仕会業務を運営した。

幸いにワクチン接種の効果等により、その影響も甚大ではなくなり政府による行動制限の緩和が可能となって、各宗教団体、県遺族会等の団体参拝数が8月以降顕著に増加しつつあり、事業は概ね順調に実施できた。

以下、公益事業の区分ごとに報告する。

II 戦没者崇敬に関する思想の普及

1 秋季慰霊祭の実施

10月18日、コロナ禍が継続する中、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、約380名の参加を得て厳粛に実施した。

2 国・諸団体による慰霊行事並びに一般参拝者への支援

(1) 厚生労働省主催等の「拝礼式」「遺骨引渡式」の支援

5月30日拝礼式については3年ぶりに開催された。また、遺骨引渡式は、硫黄島からのご遺骨の帰還(4回:8月、10月、12月、2月)を支援した。

(2) 諸団体による慰霊行事及び一般参拝者への支援

諸団体が行う慰霊行事及び一般参拝者への支援について、感染防止に最大限留意しつつ、厳粛かつ整齊円滑に行えるよう支援している。なお、休憩所の利用にあたっては、施設管理に責任を有する環境省の千鳥ヶ淵戦没者墓苑管理事務所と綿密に調整しつつ、引き続き感染防止処置を行っている。

(3) 墓苑献花台の献花奉仕を支援

帝国華道院研究部による毎週の前屋献花台への献花を支援した。

(4) 春・秋の奉仕茶会の行事に協力

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会による茶会については、コロナ感染防止の観点から春・秋とも三年連続中止となった。

別表 1 令和4年度主要慰霊行事予定(結果)

別表 2 参拝状況(令和4年度)

各種団体の参拝・慰霊行事参加状況

別表 3 会員人数・参拝者数
奉仕会会員等人数及び参拝者の推計

3 墓苑の普及広報

戦没者崇敬思想の普及、奉仕会の人的・財政的基盤の充実に寄与するとともに参拝者の増加に繋げるため各種事業を行っている。なお、一部事業について実施を見合わせているものもある。

(1) 投稿記事の募集、掲載

昨年度募集した「かけがえのない日本、かけがえのない世界」と題する投稿記事（25通）について掲載を継続している。

(2) 広報紙「千鳥ヶ淵」の発行、配布

広報紙「千鳥ヶ淵」を2ヶ月毎に7千部発刊し、奉仕会会員等、関係省庁、国会図書館、各都道府県庁・同遺族会、戦友会、篤志団体等に対して配付するとともに、参拝者にも苑内で配布した。その内容は奉仕会主催の秋季慰霊祭、諸団体により行われる慰霊行事、一般参拝者の状況、その他戦没者に対する慰霊奉賛活動等墓苑内外の各種の情報を提供し、墓苑の普及広報とともに戦没者慰霊奉賛の機運を醸成した。

(3) ホームページ等による広報

墓苑の行事、奉仕会の活動状況、特に、関連行事の動画も掲載し理解の促進を図った。また、桜まつりの時期に墓苑を幅広く一般国民に対して広報の実を上げる事に努めている。

(4) SNS の活用による広報

コロナ禍に鑑み、これまで YouTube に墓苑参拝動画「On-line 参拝」をアップロードし、来苑できない参拝者への便宜を図った。更には、桜のシーズンに併せて6本の YouTube をアップロードして参拝者数の増加に努めた。

(5) 参拝者等に対する周知説明による広報

来苑した団体及び一般参拝者に対して墓苑を案内、説明するとともに広報紙等を配布、利用するなどにより理解の促進に努め、併せて会員への入会を勧誘することを実施した。

(6) パネル展示による広報

桜の開花時期、終戦の日及びその前後等人が集まる時期にパネル展を開催した。

(7) マスコミ等の活用

秋季慰霊祭、パネル展示等についてマスコミ、千代田区観光協会 HP 等を通じ情報提供を行うことを計画したが、三密防止の観点から参拝者

の入苑制限等を勘案し実施していない。

(8) 前屋及び休憩所における墓苑広報写真及びパネルの展示

墓苑を訪れた一般の参拝者等に対して、墓苑の概要、戦没者慰霊の各種施策等を紹介し、参拝者の理解に資するため、秋季慰霊祭、厚労省主催行事並びに各種団体等の行う慰霊行事等の広報写真を前屋に展示し、また、休憩所内に墓苑広報パネルを展示している。

(9) その他の各種広報等

ア 参拝者への理解の促進及び会員の増勢に資する広報用パンフレットや奉仕会への入会案内を折り込んだ広報紙を休憩室等に設置するとともに、広報紙に入会依頼を適宜掲載している。

イ みえだみなこ氏著の絵本3部作「おじいちゃんのバイオリン」「このこえがきこえますか」「さいごのあさごはん」を奉仕会推薦図書とし、会員及び一般の方にも広く紹介し、販売を11月1日から開始した。

ウ 地元三番町町会の行事支援として茶話会の開催支援・講話を行い墓苑の広報を実施した。

エ 帝京大学井上義和教授による「三社巡り」の紹介 YouTube 作成に協力して8月15日放映された。

III 国が行う墓苑の維持管理等の業務に積極的に協力

1 六角堂周辺の清掃等

六角堂周辺、特に墓前及び休憩所の清掃・整理整頓を毎朝及び日中適時に積極的に行い清新な参拝等に協力している。

2 墓前に参拝者用の慰霊献花のための菊花を準備、管理している。

3 休憩所等に保管する図書及び資料の整理整頓並びに閲覧案内、図書閲覧者記録簿の管理を行っている。

IV 奉仕会業務の綿密、着実な運営

1 中長期事業計画の実施状況

令和4年度から開始した中長期事業計画について、これまでの実施状況は次の通りである。なお、令和5年度以降、長期計画（特に創建70周年事業）についても、大綱について逐次具体化する予定である。

(1) 戦争記憶の保存、配布

令和3年度開始したインパール作戦関連図書に引き続き、シベリア抑留関連 書籍（絵本）を推薦図書として広報紙に掲載するとともに、休憩所

にサンプルを置き販売をしている。

(2) 人が集まりやすい機能の充実

管理事務所と調整し、アジサイロードを西門から休憩所の道路脇に設置すべく準備中である。今年度は影響なく咲くかどうかの検討のため、苑内にある一部アジサイの移設を実施した。また、「千代田のさくらまつり」の時期と連携して、苑内の枝垂桜等の看板・ポスターを設置して、花見客の集客に努めた。

(3) メモリアルゾーンの形成と墓苑「Memorial Museum」としての機能の充実

靖國神社、しょうけい館、昭和館とともにこれらを一体化した「昭和メモリアルゾーン」を形成するため、関係団体に意見聴取したところ、靖國神社を含めて、政教分離の必要性を主張する団体が多く、再検討することとしている。なお、「追悼デジタル資料館（仮称）」の設置については、創建70周年事業において具体化を検討する予定である。

(4) HP の充実

部外のHP開設専門会社とともに、HPの全面改修について検討を開始した。令和5年度半ばには改修を完了予定である。なお、「苑内施設の説明の充実」についてはHPの改修に併せて実施する予定である。

(5) 広報紙の充実、配布先の拡充

広報紙配布先の拡充のため、類似施設に依頼したところ、新たに沖縄県平和記念財団より50部の受け入れ表明があり、9月号から送付している。

(6) 参拝者の減少対策

昨年7月各都道府県遺族会長に対して、各市区町村を含めて参拝促進を依頼する文書を送付した。その結果、各市区町村遺族会による団体参拝については逐次増加している。

(7) 会費納入要領の見直し

会費の管理事務の効率化と会費納入の公平化を狙いとして、これまでは支払いの基準月を各会員個別の会費納入月として管理していたところ、来年度から年度当初に統一して管理し、納入状況が明確になるよう示すこととした。

(8) 働き方改革

6月より事務所に共有サーバーを導入しており、自宅においてデータにアクセスが可能となり、テレワークを充実して実施できている。また、情報共有が容易となり、相互の意見交換が迅速になった。

- 2 戦史資料の収集整理及び調査研究
 - (1) 大東亜戦争や遺骨収集、戦没者慰霊等に関する各種資料の収集整理を行い広報紙の関連記事として掲載するほか、成果を蓄積・保管している。
 - (2) 遺族、参拝者等の要望に応じ、戦闘戦史・部隊史等に関する調査・研究を行い必要な情報を提供している。

- 3 各種会議の開催
 - (1) 理事会・評議員会
第1回通常理事会を令和4年4月15日、定時評議員会を5月13日に、いずれも定款第26条（決議の省略）による文書送付による方式とした。第2回通常理事会を令和5年2月14日にWeb会議方式で実施した。
 - (2) その他の会議
 - ・ 参与会は、コロナ禍のため引き続き実施を見合わせた。
 - ・ 令和5年2月下旬に各慰霊行事实施団に対して文書配布により慰霊行事の諸調整を行った。

- 4 献花用の菊花及び飲料等の準備
参拝者用に墓前で菊花、休憩所で飲料水、参拝記念品等を販売している。

- 5 奉仕会の基盤充実
 - (1) 奉仕会会員の増勢及び助成金の獲得等により、会の運営基盤の充実を図っている。特に、参拝者の減少により献花料等の収益事業収入が減少し、本年度も年度収支が大幅な赤字になる恐れが予想される中、今年度政府の補正予算による新たな助成事業である「事業復活支援金」申請を6月に行い100万円の給付を得た。また、6月奈良県在住の元医師から1,000万円の奉納を得て、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の慰霊・奉賛事業費及び基本財産へ繰り入れる件について同意を得て運用している。
 - (2) 内閣が付与する「紺綬褒章（年間500万円以上の寄付者対象）推薦申請機関」として環境大臣を通じて認定を申請していたところ、10月に認められた。また、環境大臣へ（年間100万円以上の寄付者対象）感謝状の付与が可能か否か事務所長を通じて照会中である。
 - (3) 顧問税理士との年間契約を行った。顧問税理士の指摘・指導により内閣府提出財務諸表の補足、都税事務所納付金額（7万円）の支払不要となり、前述の「事業復活支援金」申請時の収入証明書作成など財

務基盤を充実した。

- (4) 働き方改革としてテレワークを可能にするためレンタルサーバーを導入し、各種データの電子化を図り在宅での勤務が可能となった。

6 諸規程の見直し等

時宜に応じた奉仕会規則類の見直しを行っている。特に本年度は、内規の改定を実施して、現状との乖離をなくした。

7 内閣府への報告

法令に基づき事業計画等及び事業報告等を的確に行っている。

8 その他

- (1) 令和3年度に引き続き、理事の勤務態勢を2名ずつ（専従員の勤務日には1名勤務）とするテレワークを実施している。また、テレビ会議が必要な場合に備え、Zoom等のWeb会議システムを利用してテレビ会議を実施した。
- (2) 令和3年1月から、役員との連携強化のため、主として事務局の活動を記載した「墓苑だより」を月に1回基準で送付している。
- (3) 8月15日終戦の日の総理大臣等による参拝においては、鈴木会長が案内役を務めた。また、10月18日の秋季慰霊祭においては、鈴木会長が国会における委員会審議により欠席せざるを得ず、祭主として草刈副会長が執り行った。

(了)

令和4年度主要慰霊行事等予定(結果)

別表 1

(期間: 令和4年4月～令和5年3月)

月	日(曜日)	主催団体	慰霊行事名	実施状況
4	10日(日)	法華宗(本門流)宗務院	千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要	実施
	計画せず	比島ミンダナオ島方面戦没者遺児の会	比島ミンダナオ島方面戦没者慰霊祭	中止
	13日(水)	龍雲寺	御詠歌慰霊法要の会	実施
	14日(木)	防衛省海上自衛隊	遠洋練習航海部隊参拝	実施
5	30日(月)	厚生労働省	拝礼式	実施
6	計画せず	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会	春の奉仕茶会	中止
7	13日(水)	千代田区役所	令和4年度千代田区戦没者追悼式	実施
	14日(木)	妙智會教団	千鳥ヶ淵戦没者墓苑うら盆供養	実施
	15日(金)	阿含宗関東別院	太平洋戦争戦没者供養護摩法要 千鳥ヶ淵万燈会	実施
8	14日(日)	(公財)新日本宗教青年会連盟	第57回戦争犠牲者慰霊 並びに平和祈願式典	実施
	15日(月)	8・15平和祈禱会実行委員会	8・15平和祈禱会	実施
	15日(月)	日蓮宗宗務院	千鳥ヶ淵戦没者追善供養 並世界立正平和祈願法要	実施
	15日(月)	フォーラム平和・人権・環境	戦争犠牲者追悼・平和を誓う8・15集会	実施
	15日(月)	(公社)日本会	第63回世界総調和の日祭典	実施
	16日(火)	全国強制抑留者協会埼玉支部	全国強制抑留者協会埼玉支部慰霊祭	実施
	23日(火)	シベリア抑留者支援センター	シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼 の集い	実施
9	18日(日)	浄土真宗本願寺派	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要	実施
	23日(金)	立正佼成会	第64回千鳥ヶ淵戦争犠牲者慰霊法要	実施
10	17日(月)	シベリア・クラスノヤルスク遺族会	シベリア抑留中死没者のための鎮魂祭	実施
	18日(火)	(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会	秋季慰霊祭	実施
	31日(日)	東京地区メレヨン会	慰霊祭	中止
11	3日(木)	ソ連抑留戦友・遺族会 東京ヤゴダ会	第25回鎮魂慰霊祭	実施
	計画せず	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会	秋の奉仕茶会	中止
	18日(水)	関西宗教懇話会	第8回全国仏教者による戦没殉難者 慰霊法要	実施
2	16日(木)	僧庵の会施行院	第28回慰霊祭	中止
3	12日(日)	比島みたま会	第27回慰霊祭	実施
	19日(日)	ピースリング・オブ・グァム・ジャパン	春彼岸の参拝	実施
	26日(日)	解脱会東京第一教区	千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭	実施
備考	実施:23 中止:5 (昨年度 実施:17 中止:8)			

参拝状況（令和4年度）

各種団体の参拝・慰霊行事参加状況

（* 要人代理）	秋篠宮皇嗣同妃両殿下、内閣総理大臣、総務大臣*、厚生労働大臣、環境大臣、防衛大臣*、内閣官房長官、国家公安委員長、自由民主党総裁*、立憲民主党代表、公明党代表*、国民民主党代表、内閣官房副長官、厚生労働副大臣、総務大臣政務官、防衛大臣政務官、防衛事務次官、厚生労働省社会・援護局長、厚生労働省官房審議官、環境省自然環境局長、統合・陸上・海上・航空各幕僚長
遺族会	日本遺族会、都道府県遺族会（青森、岩手、東京、埼玉、茨城、群馬、神奈川、静岡、長野、山梨、大阪、富山、福井、愛知、広島、香川、高知、福岡、熊本、長崎、佐賀、宮崎、大分、鹿児島）、加須市、浦和市、世田谷区、多摩市、狛江市、稲城市、飯山市、神奈川県寒川町、横浜市、伊勢原市、函南市、平塚市、茅ヶ崎市、長野市、浜松市、磐田市、沼津市、蒲郡市、長久手市、知立市、愛知県東郷町、堺市、姫路市、倉敷市、シベリア・クラスノヤルスク遺族会、比島ミンダナオ島方面戦没者遺児の会、東部ニューギニア戦士・遺族会、フィリピンみたま会、ピースリング・オブ・グアムジャパン、マーシャル方面遺族会、パラオ遺児の会
戦友会等	シベリア抑留者支援センター、東京メレヨン会、東京ヤゴダ会、全国ソロモン会、陸士（第56、第58、第60）期生会
宗教団体	普明会教団、真言宗護國派、妙智會教団、阿含宗（関東別院、清掃奉仕会）、新日本宗教青年会連盟、日蓮宗、浄土真宗本願寺派、日本宗教連盟、新日本宗教団体連合会、解脱会（南新宿支部、大森八幡支部）、立正佼成会、世界連邦日本仏教徒協議会、関西宗教懇話会、念法眞教、かむながらのみち、法華宗宗務院、龍雲寺、東郷神社
都府県篤志団体（* 代理）	第1普通科連隊、海自遠洋航海部隊、海自第21航空群、空自第7航空団、陸自中央音楽隊、陸自衛生学校、防衛大学校、都道府県知事（岩手*、東京*、京都*、兵庫*、和歌山*、広島*、愛媛*、佐賀*、長崎*、熊本*、鹿児島*、沖縄*）、千代田区、日本郷友連盟、隊友会、東京都隊友会、偕行社、水交会、水交会横須賀支部、つばさ会、特攻隊戦没者慰霊顕彰会、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会、全国強制抑留者協会（本部、埼玉支部）、英霊にこたえる会、中央乃木會、東郷会、洗心懇談会、全国警親会連合会、小松ストア、富士急行、太平洋戦争戦没者慰霊協会、東京郷友連盟、呉竹会、北海道新聞社、日本放送協会、音羽ゆりかご会、東京葵ライオンズクラブ、帝国華道院研究部、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会、竹中工務店、喇叭保存会、喇叭伝承会、JYMA日本青年遺骨収集団、英霊に真の感謝を捧げる会、8・15平和祈禱会、フォーラム平和・人権・環境、博物館友の会、幸手市歩こう会、浦和市健康促進グループ、千代田区海洋少年団、清掃ボランティア活動奉仕会、櫻晴れ戦没者慰霊奉仕団、トイレ清掃奉仕会、二松学舎大学、自由学園

会員人数・参拝者数

奉仕会会員等人数及び参拝者の推計 (令和5年3月31日現在)

1 会員等数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人 (人)	正会員 (富士ダイス:内数)	528 (132)	504 (109)	456 (81)	440 (64)
	終身会員	810	798	713	711
	奉納者	173	166	148	182
	小計	1,511	1,468	1,317	1,333
団体 (個)	特別会員	10	11	14	11
	同窓団体	23	23	22	22
	地域偕行	50	50	50	50
	郷友団体	40	40	40	40
	戦友会	37	36	36	36
	篤志団体	91	92	92	92
	宗教団体	134	135	135	135
	遺族会	487	477	472	472
	小計	872	864	861	858

2 参拝者の推計

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体 (人)	記録した参拝者数	14,795	2,106	1,274	4,199
	記録漏れ推計数 (記録数の10%)	1,480	211	127	420
	小計	16,275	2,317	1,401	4,619
個人 (人)	開花から桜祭り期間※1	21,899	6,447	7,021	15,735
	(上記期間の4月分)	9,528	1,034	731	3,735
	終戦の日関連 (8月13日～15日)	11,618	2,764	1,446	1,982
	彼岸期間 (秋一週間)	837	941	1,722	425
	上記以外	22,706	12,808	19,844	33,501
	小計	44,689	17,547	23,743	47,908
※2 合計		60,964	19,864	25,144	52,527

※1 開花宣言から桜祭り終了日(4月)の人員数。年度の集計数には4月分は除く。

※2 参拝者の合計人数は、管理事務所の入場者センサーのデーターを利用